

《 研究主題 》

**確かな学力を身に付けた児童生徒の育成**  
～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを目指して～



**目標**

- ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを通して、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成する。

**研究仮説**

- 授業において各教師が様々なICT機器を活用した授業改善を計画的に実践していけば、児童生徒が主体的・対話的で深い学びを行い、確かな学力を身に付けることができるであろう。

**小学校研究班**

- ・ 情報活用能力についての系統的・段階的な指導の充実
- ・ ICT機器の効果的な活用
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践
- ・ 教師のICT機器活用能力の向上
- ・ 主体的・対話的で深い学びの基礎を育む日常実践



**知識・技能定着（各学校）**

学習した知識や技能を定着させるための研究・実践

**東方小における主体的・対話的で深い学びの定義**

- 主体的な学び  
学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。
- 対話的な学び  
児童同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考え方を広げ深めること。
- 深い学び  
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を生かしながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすること。

## 情報活用能力についての系統的・段階的な指導の充実

### 情報活用能力系統表の充実（単元とのリンク）

- ☆ 情報活用能力の育成重点指導事項  
 「情報を選択・判断・活用すること」  
 「根拠をもち、他の意見と比較して話し合うこと」

宮崎県小林市立東方小学校第4学年 情報活用能力育成 単元表

☆ 情報活用能力の育成重点指導事項  
 「情報を選択・判断・活用すること」「根拠をもち、他の意見と比較して話し合うこと」

知識及び技能	小学校中学校	第4学年の関連する単元・学習活動 (※タブレット活用が考えられるもの)
1. 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	① 情報技術に関する技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボードを使ってローマ字力で文字を入力することができる。</li> <li>電子ファイルの検索方法を習得している。</li> <li>映像編集アプリケーションの基本的な操作方法を習得している。</li> <li>インターネットを使ってさまざまな情報を見たり、検索したりすることができる。</li> </ul>
	② 情報と情報技術の特性と理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の種類や特徴について知っている。</li> </ul>
	③ 記号の組み合わせ方の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活の中で、コンピュータがどのように利用されているが知っている。</li> <li>問題を解決するときの手順を図に表すことができる。</li> </ul>
	2. 問題解決・探求における情報活用方法の理解	① 情報収集、整理、分析、表現の理解
② 表現方法の理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>「アップとルーズで伝える」「しようほう」を習得するとき」「ピクニックを語る」</li> <li>「中心となる語や文を見つけ、調べたことを書くこと」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「アップとルーズで伝える」「しようほう」を習得するとき」「ピクニックを語る」</li> <li>「中心となる語や文を見つけ、調べたことを書くこと」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「アップとルーズで伝える」「しようほう」を習得するとき」「ピクニックを語る」</li> <li>「中心となる語や文を見つけ、調べたことを書くこと」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> <li>「いろいろな特色を生かしたくらし」</li> </ul>

#### 【単元表のねらい】

情報活用能力系統表に、各教科の単元をリンクさせることで、いつどんな能力を育成すべきか意識する。  
 ○各学年、理科専科、特別支援学級でそれぞれ作成

分形	総合□「環境」
<ul style="list-style-type: none"> <li>考えるための技法を用いて情報を整理することができる。</li> </ul>	国語□全単元における考えの発表時（比較、関連付け、理由付け、分類） 「白いぼうし」 □□□「アップとルーズで伝える」 □□□「一つの花」 □□□「 社会□「住みよいくらし」 算数□全単元における考えの発表時（比較、関連付け、理由付け、分類） □□□「割合」
<ul style="list-style-type: none"> <li>表現方法を相手に合わせ</li> </ul>	国語□「お礼の気持ちを伝えよう」

発達段階に応じた育成したい情報活用能力

その能力を育成する場面がある単元をピックアップ

【資料】情報活用能力育成単元表

## 教師のICT機器活用能力の向上

### 情報スキル研修、普段の職員研修での活用



新導入のタブレットPCの研修



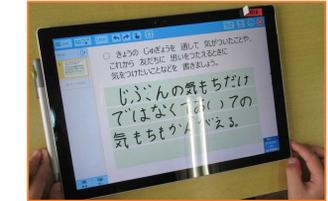
小中合同研修（プログラミング教育）



タブレットPCを使った話し合い

# ICT機器の効果的な活用 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践

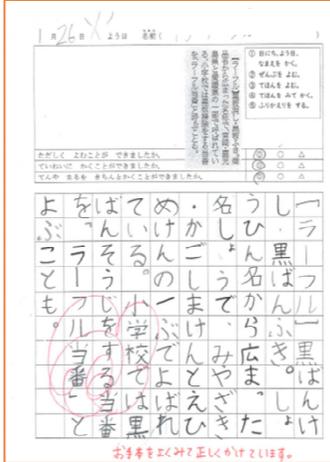
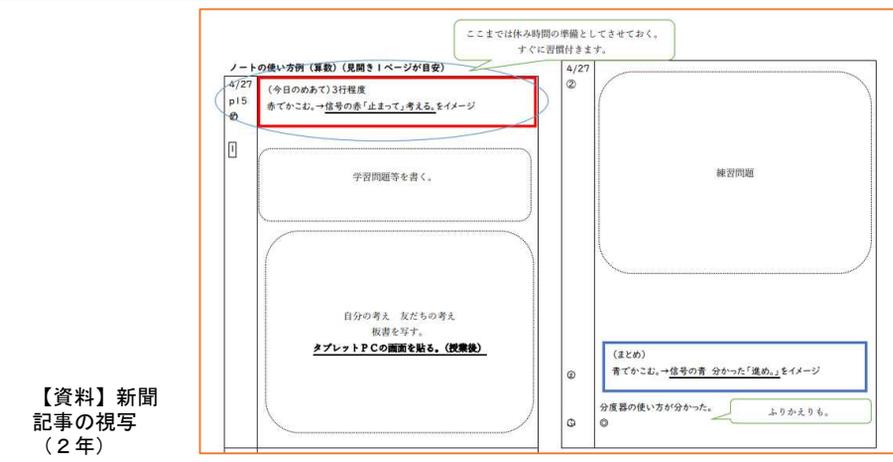
## グループ研による事前研・授業実践・事後研 一人一授業の実践・参観

<p>つなぐ つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題提示</li> <li>○アンケート</li> </ul>		<p>デジタル 教科書＋ 教員作成 の画面で 問題提示</p>		<p>課題意識 をもたせる ために 「投票」 機能を活用</p>		
<p>考える 学び合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○写真撮影</li> <li>○自分の考えの まとめ</li> <li>○インターネット 検索</li> <li>○電子黒板での 発表</li> <li>○タブレットを ならべて対話</li> <li>○グループワー クによる対話</li> </ul>						
<p>まとめる ふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りシー ト</li> <li>○振り返りの内 容提示</li> </ul>		<p><b>学習のふりかえり</b> ◎△でチェック</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の考えや意見を、分かりやすく伝えることができましたか。</li> <li>② 自分と友達の意見をくらべながら、考えることができましたか。</li> <li>③ キーワードを使って、学習したことをまとめることができましたか。</li> <li>④ 今日の学習が よく分かりましたか。</li> </ol>				

# 主体的・対話的で深い学びの基礎を育む日常実践

## 新聞記事の活用、学習規律の共通理解

【資料】東方小学校 ノートの使い方（算数）

 <p>【資料】新聞 記事の視写 (2年)</p>	 <p>【資料】東方小学校 ノートの使い方（算数）</p> <p>ここまでは休み時間の準備としてさせておく、すぐに習問付きます。</p> <p>4/27 (今日のあて)3行程度 赤でかこむ。→番号の赤「止まって」考える。をイメージ</p> <p>学習問題を書く。</p> <p>自分の考え、友だちの考え 板書を写す。 <b>タブレットPCの画面を貼る。(授業後)</b></p> <p>4/27 ②</p> <p>練習問題</p> <p>(まとめ) 青でかこむ。→番号の青「分かった」進め。」をイメージ</p> <p>分度器の使い方が分かった。 ふりかえりも。</p>
--	--

# 成果と課題

## 【成果】

〈情報活用能力チェックリストから見える成果〉

- 活用能力の向上
- 伸びている項目が多岐に  
→タブレットで多様な活用の拡がり

〈NRTテストから見える成果〉

- 全体的に向上
- 無解答率の低下

〈教員の「主体的・対話的で深い学び」に関する自己評価から見える成果〉

- ICTの効果的・意識的な活用
- 主体的・対話的で深い学びを意識した授業への取組

【資料】NRTテストを活用した学力向上の評価

5学年の結果より（国語）	6月		12月	
	正答率(%)	無答人数	正答率(%)	無答人数
〈説明文の〉文章から考察	10	0/10	40	0/10
〈説明文の〉表と文章の読み取り	20	0/10	40	0/10
〈文学的文章の〉主人公の人物像	20	0/10	50	0/10
〈文学的文章の〉内容理解	20	1/10	60	0/10

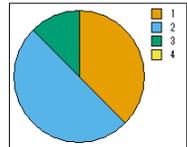
3年		評価内容	7月	12月
知識・技能	1	ゲーム機→ネット	2.2	2.6
	2	キーボード入力	1.6	3.3
	3	写真・動画撮影	3.3	3.9
	4	ファイルを保存・開く	1.9	2.4
	5	ネット検索	2.3	3.5
	6	新聞・テレビの記事や写真	1.5	2.2
	7	写真には許可必要	3.4	3.7
	8	悪い情報は大人に相談	3.0	3.3
	9	勝手な写真×	2.7	2.9
	10	インターネットは大人と	3.1	3.1
思考・表現・判断	11	聞きながらメモ	2.6	3.4
	12	→表やグラフに整理	2.6	3.5
	13	調べた→新聞やパンフ	1.7	3.1
	14	表やグラフを読み取る	2.9	3.6
	15	本、人、見学して調べる	2.6	3.7
	16	ホームページ→まとめる	2.0	2.8
	17	話す→声・間	3.2	3.2
	18	写真や図→新聞やパンフ	1.1	3.0
	19	理由や例を挙げて話す	2.4	3.1
	20	発表→画面にマーキング	2.9	3.5
学びの関心・人	21	いろいろな方法で情報を採	2.2	2.3
	22	個人情報を教えない	3.6	3.7
	23	タブレットPC・コンピュータ	2.6	3.3

【資料】伸びの大きかった第3学年のアンケート結果

【22】ICT機器を効果的に活用する。(タブレットPC、デジタル教科書、実物投影機、電子黒板など)

(単一選択)

1. よく意識した	8人 (30%)
2. まあまあ意識した	4人 (50%)
3. あまり意識しなかった	1人 (13%)
4. 全然意識しなかった	0人 (0%)



【資料】教員の自己評価の結果より

## 【課題】

〈情報活用能力チェックリストから見える課題〉

- 表計算の活用（高学年）
- キーボード入力の向上
- 保存の仕方の意図的な指導
- 「相手に伝わるように声・間に気をつける」項目のポイントの低さ

〈NRTテストから見える課題〉

- 問いに正しく答える力
- 情報量が多い中から必要な情報を選び出す力
- 問題を解くスピード
- 国語の授業で、児童がじっくりと考える発問をする必要性
- 授業中における算数的活動の取り入れ方

〈教員の「主体的・対話的で深い学び」に関する自己評価から見える課題〉

- 項目によっては、支援学級で取り組みにくいものもあった。（対話的な活動の設定など）

# 研究同人

高橋 浩司	津曲 健	澁谷 友美	萩原 詩乃	上杉 めぐみ
大平落 鈴香	満行 浩	高岩 恵子	井福 浩智	深江 柚伽
児玉 光造	前田 恵子	柁山 晶美	水間 和彦	(中山 裕子)